

# 登米市開市記念式典



## 登米市開市記念式典を開催

今年4月、9町の合併により誕生した「登米市」の門出を祝い、11月15日、登米祝祭劇場で登米市開市記念式典を開催しました。

式典には、旧町の三役や合併協議会委員、市議会議員、各種委員会の長らが出席。また、国会・県議会議員や隣接市町村長も参列しました。

オープニングセレモニーは、米山丸山太鼓による演奏。市章発表や表彰状、感謝状の贈呈、祝辞の後、とめ市民合唱団による記念合唱が披露されました。

式典には、来賓、受章者、各町域団体長、関係者ら約七百人が出席。オープニングは、イギリスの影武者太鼓とのジョイントコンサートをはじめ、全国の大会などで活躍している「米山丸山太鼓」の和太鼓演奏が披露されました。続いて、11月1日に制定した市章を布施市長と千葉議長を除幕により発表（次ページに詳細掲載）。井林助役が開式宣言を行い、式典が始まりました。

市長は「合併は当地域が発展するには避けて通れない道だった。合併に携わった皆さんに敬意を表し感謝します。市民皆さんの英知を借りながら、県北の中核都市を目指したい」とあいさつしました。式典では、合併に尽くされた旧町長、議会議員、合併協議会委員へ表彰状、感謝状を贈呈。産業や教育、福祉などに尽力された皆さんにも感謝状が贈られました。

終わりに「とめ市民合唱団」が水の里など3曲を歌い上げました。

# 登米市の市章が 決定しました



## 「と」をモチーフ 「豊かな実り」「元気な市民」を 表現

登米市の市章が11月1日に制定されました。

市章は、7月1日から8月31日まで公募したところ、全国各地から720点の応募があり、「市民憲章等制定検討委員会」で選考した結果、最優秀賞に深川重一さん（大阪府和泉市）の作品が選ばれ、採用されました。

デザインは、登米市の頭文字、ひらがなの「と」をモチーフにしたもの。水色が北上川、迫川や伊豆沼、長沼などの「水」、緑色は自然や田園の

「緑」、オレンジは「太陽」をイメージし、「豊かな実り」

「元気な市民」を表現しています。未来に向かって飛翔・発展する登米市、登米市民の力強さを感じさせる作品です。深川さんには、20万円相当の登米地域の特産品が贈られます。

優秀賞の受賞者は次のとおりです。

▼海老原章さん（静岡市）濱常治さん（福岡市）阿部泰彦さん（登米市迫町）水久保義信さん（宮崎県都城市）



①とめ市民合唱団による記念合唱②合併功労者総務大臣表彰を受ける旧石越町長 稲邊正さん（旧登米地域合併協議会長）③式典では市章の発表が行われました（布施市長と千葉議長）

